

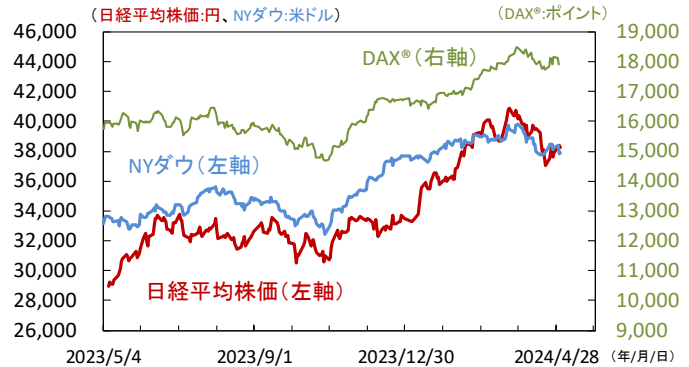
円相場は米FOMC後に急騰、米FRBのタカ派姿勢は想定ほど強まらず

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	5月1日	4月30日	前日差
日本	日経平均株価(円)	38,274.05	38,405.66	-131.61
	-CME日経平均先物(円)	37,965.00	38,165.00	-200.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,729.40	2,743.17	-13.77
	参考)東証REIT指数	1,815.82	1,808.73	7.09
米国	NYダウ(米ドル)	37,903.29	37,815.92	87.37
	S&P500	5,018.39	5,035.69	-17.31
	-S&P500配当貴族指数	4,368.21	4,361.84	6.37
	ナスダック総合指数	15,605.48	15,657.82	-52.34
ドイツ	DAX®指数	休場	17,932.17	-
英国	FTSE100指数	8,121.24	8,144.13	-22.89
豪州	S&P/ASX200指数	7,569.90	7,664.10	-94.20
中国	上海総合指数	休場	3,104.82	-
香港	ハンセン指数	休場	17,763.03	-
インド	S&P BSE SENSEX指数	休場	74,482.78	-
ブラジル	ボベスパ指数	休場	125,924.19	-
先進国	MSCI WORLD	3,294.01	3,305.30	-11.29
新興国	MSCI EM	1,045.52	1,045.95	-0.43
商品	(単位:米ドル)	5月1日	4月30日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	79.00	81.93	-2.93
金	COMEX先物(期近物)	2,311.00	2,302.90	8.10
10年国債利回り	(単位:%)	5月1日	4月30日	前日差
日本		0.894	0.872	0.022
米国		4.641	4.682	-0.041
ドイツ		休場	2.582	-
オーストラリア		4.490	4.416	0.074
為替(対円)	(単位:円)	5月1日	4月30日	前日比%
米ドル		154.47	157.80	▲2.11
ユーロ		165.53	168.21	▲1.59
英ポンド		193.47	197.11	▲1.85
カナダドル		112.41	114.51	▲1.83
オーストラリア(豪)ドル		100.73	102.11	▲1.35
NZ(ニュージーランド)ドル		91.59	92.90	▲1.41
シンガポールドル		113.46	115.56	▲1.82
中国人民元		21.329	21.789	▲2.11
インドルピー		1.8504	1.8905	▲2.12
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9497	0.9702	▲2.11
メキシコペソ		9.086	9.201	▲1.25
ブラジルリアル		29.738	30.382	▲2.12
トルコリラ		4.751	4.869	▲2.42
ロシアルーブル		1.6369	1.6885	▲3.06

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
 WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。
 COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
 表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
 前日差は原数値の比数であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
 本資料は、作成時点でLSEGにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、LSEGにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。
 出所) MSCI、LSEGより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2024年5月1日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

●日経平均株価は3営業日ぶりに反落。前日に米国市場で利下げ期待が後退して株安となった流れを受けて、利益確定売りが優勢となり、下げ幅は一時300円を超過。一方で、米連邦公開市場委員会(FOMC)の結果公表を控えて、様子見姿勢も強く、午後は下げ渋る展開に。

●米国株はまちまち。NYダウは反発した一方、S&P500やナスダック総合は続落。米連邦準備理事会(FRB)はFOMCで事前予想の通り、6会合連続で政策金利を据え置き、声明文では過去数カ月間に物価目標回帰に向けた進展がないとの見解を明示。一方で、会合後の記者会見でパウエルFRB議長は次の政策変更が利上げである可能性は低いと明言し、予想外に量的引き締め(QT)の減速を決定。FRBがタカ派姿勢を強めるとの懸念は後退し、米10年国債利回りは一時4.5%台に大きく低下。

●ニューヨーク為替市場では、米FOMC後に急速に円高・ドル安が進み、円相場は一時1ドル=153円台に上昇。日本政府・日銀による為替介入との観測も浮上。

◆今週末の注目点:

日銀3月会合議事要旨(2日)、米雇用統計(3日)

日銀は2日に、マイナス金利の解除を決定した3月金融政策決定会合の議事要旨を公表。当面は金融緩和を続ける姿勢を改めて確認か。米国では3日に、4月雇用統計や4月ISMサービス業景気指数が公表。事前予想以上に、労働市場や景気の堅調さが示されれば、インフレ・景気再加速への懸念が再度意識される可能性も。(吉永)

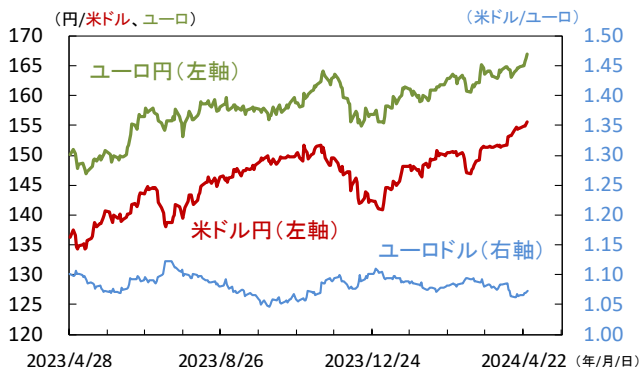
主要国金利の動き



注) 直近値は2024年5月1日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2024年5月1日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会